

# 地域データを用いた中国のインフレ分析

筑波大学 永易淳

## Preliminary

### 要約

近年注目されている中国のインフレ動向を、経済ファンダメンタルズを用い分析することが本稿の研究目的であり、省別のデータを使用することが特徴である。1991年から2005年が研究対象で以下の結果を報告している。中国インフレは貨幣供給、信用、生産性、人口増加、為替変動等の経済ファンダメンタルズにより説明することができる。しかし、中国経済の変貌を裏付けるように、この結果の一部はサンプル期間により異なる。着目する点として、インフレと金融政策の中間的目標として使用されていた貨幣供給や信用の関係は近年弱まり、為替レートの変動により敏感になってきたことが挙げられる。また、人口増加はこの期間一貫して統計的に有意な変数であり、各省ごとに増加率が異なる現象を考慮すると、今後省間のインフレ格差は増大していくことが予想される。